

学校教育目標	「自ら学び やさしい心で たくましく生きる 子ども」				
	【健康な心とからだをもち、自分も友達も大切にしながら、 自らの言葉で伝え、行動できるたくましい子どもを育てます。】				
学校概要	創立 23 周年	学校長 高橋 剛	副校長 馬場 弘子	2 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 630 人		主な関係校: 横浜市立富岡中学校、横浜市立金沢中学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○協力、共感して問題を解決しようとする力 ○豊かなコミュニケーション力、言語力 ○多様性を尊重し、創造性豊かな社会を考えられる力	富岡中学校 能見台南小学校 能見台小学校 富岡小学校 西富岡小学校	『TWO YOU』 優・・・「自己にも他者にも思いやりのある子」 勇・・・「未来を見すえ、一步踏み出し、表現できる子」 ・『TWO YOU』をテーマとした2回のブロック合同授業研究会を行い、育てる子ども像の共通理解を図ったり、指導の在り方について検討したりする。 ・小学校運動会への中学生ボランティア参加や児童生徒交流日など、児童と生徒の交流に積極的に取り組む。

中期取組目標	○子ども一人ひとりを大切に、児童が明るく・楽しく・安心して生活できるようにする。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、教師の授業力の向上を図る。 ・児童理解を深め、児童が自己の存在感を実感しながら、よりよい人間関係を形成し、充実した学校生活を送れるようにする。 ・地域・保護者との共働を進め、児童の安全確保や教育環境の充実を図る。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
豊かな心 担当 総務部・指導部	①なかよし活動を計画的に行い、豊かな人間関係を育成していく。また、学習でも異学年交流を取り入れ、相手意識をもって学ぶ中で思いやりの心を育てる。②全教育活動を通して道徳教育の充実を図り、人権感覚が育成されるような授業を意識して取り入れる。
生きて はたらく 知 担当 研究研修部	①学び合いを重視した課題解決型の学習を取り入れて、主体的な問題解決能力を育てる。②多様な考え方をもちた児童を育てられるように、さまざまな情報を精査し、知識を相互に関連付けて、物事を深く考えられるような思考力を育てる。
健やかな体 担当 体育部	①体育の学習指導の充実、「体育・健康プラン」をもとに運動委員会主催の運動集会の実践を通し、子どもたちの体力向上を図る。②手洗い指導の徹底による感染症予防と、給食時間を中心とした食育を実践する。
児童生徒指導 担当 指導部	①気持ちのよい挨拶、校舎内の歩行の仕方について、年間を通して継続的に指導する。②「自分づくり」「仲間づくり」「集団づくり」を意識しながら、Y-Pアセスメントを効果的に活用したり、学級や学年で定期的に横浜プログラムを実践したりする。
地域連携・学校運営協議会 担当 総務部	①地域の行事に職員が積極的に参加するとともに、各ボランティア(学援隊・南小応援団・ガーデニング等)との連携を密にとる。②学校運営協議会を中心に、地域の教育力の発掘、協力体制の確立を図る。
特別支援教育 担当 校内特別支援委員会	①教室の環境整備も含めて、ユニバーサルデザインの視点に基づく授業の実施を推進する。②外部関係機関との連携を密にし、職員研修を充実させ様々な発達課題に対する正しい知識・理解を深めたりしながら、適切な支援を行う。
安全管理 担当 総務部	①授業中の事故防止のための職員研修を行ったり、実態に応じた避難訓練計画を作成したりする。②校外での事故防止のために、特に交通安全教育(交通安全教室・朝会での話・学級指導・教科学習)を年間を通して行い、充実させていく。
いじめへの対応 担当 指導部	①学年を中心に職員間での情報交換を密に行ったり、毎月の生活アンケート後の聞き取りを丁寧に行ったりしながら、児童の困り感や小さな変化にも早く気付けるようにする。②いじめが起きにくい学校風土をつくるため、児童主体の特別委員会や横浜プログラムの実践を生かしていく。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 教務部・メンター	①メンターチームを組織し、月に1度の活動の中で実践研修や研究授業を行い、経験の浅い教員の指導力や授業力の向上に取り組む。②学年、事務分掌の人的構成に配慮し、各部内でのOJTを活性化を図り、各部のチーム力を向上させる。③共有ファイルの積極的な活用と、諸会議の議題、内容の精選を行うことで効率化を図り、働き方改革につなげる。